

集団をみながら

個の児童生徒理解

学級を理解し、子どもの声を聴く KJQマトリックス

心理検査・教材

桂川 泰典（早稲田大学） / katsuragawa@waseda.jp

2019/8/20 <心の基礎>教育を学ぶ会



KJQの背景理論

自己発揮
豊かな心
広い視野
積極的取り組み

- 
- (1) 自分の気持ちを伝える技術
 - (2) 自分をコントロールする技術
 - (3) 状況を正しく判断する技術
 - (4) 問題を解決する技術
 - (5) 人とうまくやっていく技術
 - (6) 人を思いやる技術

社会生活の技術

- (1) 安心感
- (2) 楽しい体験
- (3) 認められる体験

こころのエネルギー

こころの土台（基礎）



KJQの役割

家庭は
安らぎの場？

親や教師の
愛情を
感じてる？

友だち関係
楽しめてる？

社会的能力は
年齢相応？



生徒一人ひとりに尋ねるのは大変！



KJQの役割

- ・ 子どもが家庭，教師，友人関係から愛情やエネルギーを補給できているか？
- ・ 子どもが社会的能力をどの程度身につけているか？



生徒のところに身近な言葉で
問いかける＝KJQ



PART 1

マトリックスシートの見方



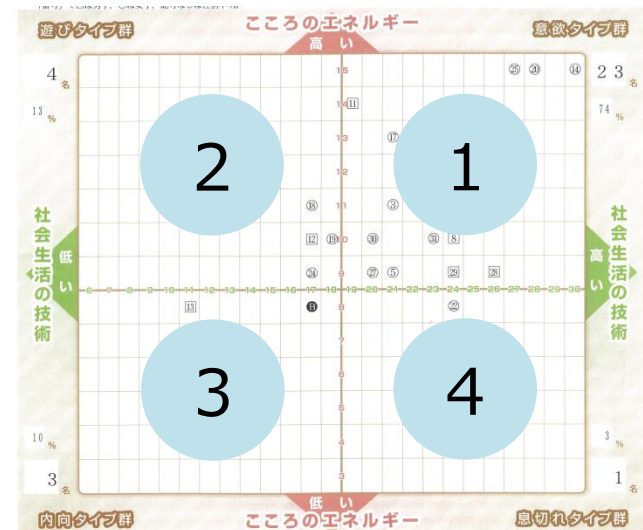
マトリックス図の見方

4象限を理解しよう

- こころのエネルギー（3特性） → 縦軸
社会生活の技術（6特性） → 横軸 でプロット
- 男子 → □, 女子 → ○, 数字 → 出席番号
アルファベット → 生徒の重複

- タイプ分類

- | | | | | |
|-------|---|-------|---|-----|
| ①心（高） | × | 社会（高） | = | 意欲 |
| ②心（高） | × | 社会（低） | = | あそび |
| ③心（低） | × | 社会（低） | = | 内向 |
| ④心（低） | × | 社会（高） | = | 息切れ |





マトリックスの見方

4タイプの特徴

①意欲タイプ：心（高）×社会（高）

自己イメージが高く、心にゆとりがある

失敗からの回復力があり問題が長期化しにくい

②あそびタイプ：心（高）×社会（低）

元気だが、自己中心的で幼い。規範意識が希薄。

1対1では憎めないタイプだが、集団では付和雷同し、授業妨害、怠学等の問題に。行事等では一過的に力を発揮することもある。



マトリックスの見方

4タイプの特徴

③内向タイプ：心（低）×社会（低）

無気力で精彩を欠く。無口で孤立しているケースもあれば表面上は「やんちゃ」な場合も。心に「さびしさ」「不当感」「希望のなさ」を抱える。家庭環境の複雑さ、隠れ愛情飢餓状態の場合も。

④息切れタイプ：心（低）×社会（高）

大人しい、手がかからない、周囲の期待に敏感、几帳面、完璧主義、融通のなさ、プライドの高さ、SOS（心身症、成績低下等）を出す気づかれにくい。



マトリックスシートの見方

臨床尺度をチェック

- 臨床尺度（6項目）＝1項目でもチェックがつけば教育上見過ごせない

Q: 気になってる子が入ってる？ 意外な子はいない？
複数チェックの子は特に注意。

臨床 尺 度	「学校の中に自分の気持ちを話せる友だちがいる」 いいえ	「家での食事は楽しみ」 いいえ
	② L	② ⑧ M
	「クラスにいても自分の居場所がないように感じる」 はい	「今のクラスは、いて楽しい」 いいえ
	② N	② O
	「休み時間や授業中に、友だちに相手にされない」 はい	「嫌なことがあって学校を休んだことがある」 はい
	P	⑮ ② ④ ⑧ ⑪ Q



マトリックスシートの見方

臨床尺度をチェック

- Q2「この学校の中に、自分の気持ちを話せる友だちがいます」→ いいえ（4）
 - 気の合う子がいない。さびしい。
友だちなんていない，信じられない。
- Q3「家での食事は楽しみです」→ いいえ（4）
 - 食卓の緊張状態。夫婦喧嘩がはじまる。
家族に気を遣う。小言を言われる。孤食。



マトリックスシートの見方

臨床尺度をチェック

- Q19「**クラスにいても自分の居場所がないように
感じる場合があります**」→ はい（1）
 - 馴染めない。相手にされない。浮いている感じがする。勉強についていけない。
- Q38「**今のクラスは、いて楽しいです**」→ いいえ（4）
 - クラスの雰囲気が悪い。先生にいつも注意される。クラスをかき乱す子がいる。友だちがいない。



マトリックスシートの見方

臨床尺度をチェック

- Q44「**休み時間や授業中などに、友だちから相手にされないことがあります**」→ はい（1）
 - いじめ・からかい・無視される。孤立している。
- Q57「**嫌なことがあって学校を休んだことがあります**」→ はい（1）不登校歴
 - 家が緊張状態にある，塾や習い事に追われ
こころのエネルギーが枯渇。ツライ出来事があった。
家庭に子どもを“押し出す力”がない。嫌なことを
回避する傾向。



マトリックスの見方

臨床尺度をチェック

Advance!!

「あれ？あの子が入ってない」

→ チェックを**つけない**思い

- ・ 大人の知らない関係あり？

例：部活動，他クラスの友だち

- ・ プライドを保ちたい？強がり？

例：「友だちに相手にされない」んじゃない。

趣味が合わないから話す意味がないだけ。

- ・ その子なりの価値観，見方？

例：「“嫌なことがあって”学校を休んだ」わけじゃない。

先生への抗議のために休んだ。



PART 2

マトリックスシートを読み込む



マトリックスを読み込む プロットを読み込む

「マイマトリクス」を
作るぞ



① **気になってる子**をマーク

Q: タイプは? 臨床尺度は?
誰と近い? 予想通り?

② **臨床尺度**を書き込む

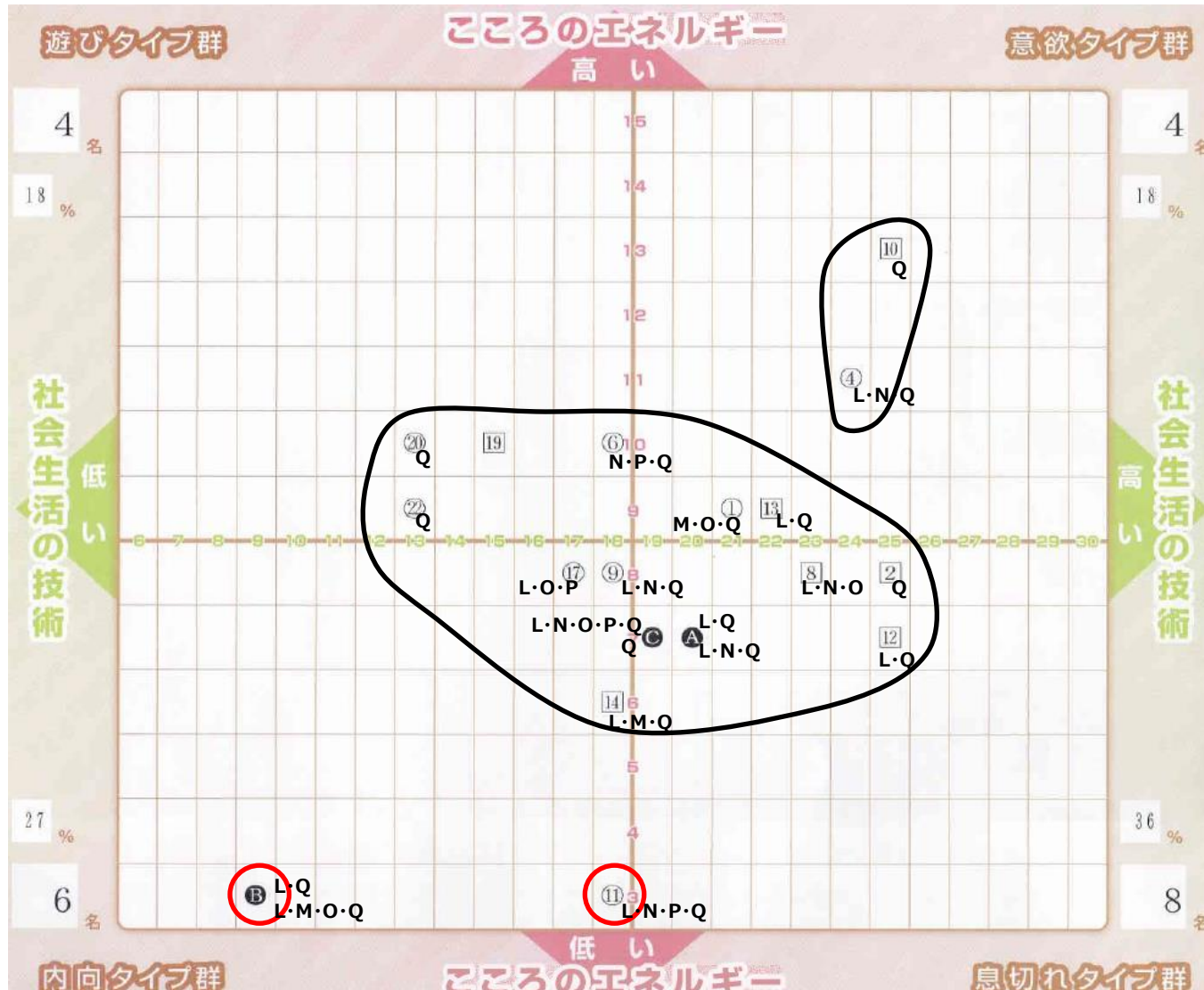
③ 普段の印象とKJQ結果に
ギャップのある子をマーク

④ **著しく値の低い子**
孤立した子をマーク



要注意の子を一目で把握できる

マトリックスシートを読み込む
プロットを読み込む



- L. 学校の中に自分の
気持ちを話せる友だち
がいる 〈いいえ〉
- M. 家での食事は楽しみ
〈いいえ〉
- N. クラスにいても自分の
居場所がないように
感じる 〈はい〉
- O. 今のクラスは,
いて楽しい 〈いいえ〉
- P. 休み時間や授業中に,
友だちに相手に
されない 〈はい〉
- Q. 嫌なことがあって
学校を休んだことが
ある 〈はい〉

マトリックスシートを読み込む 個別データを読み込む

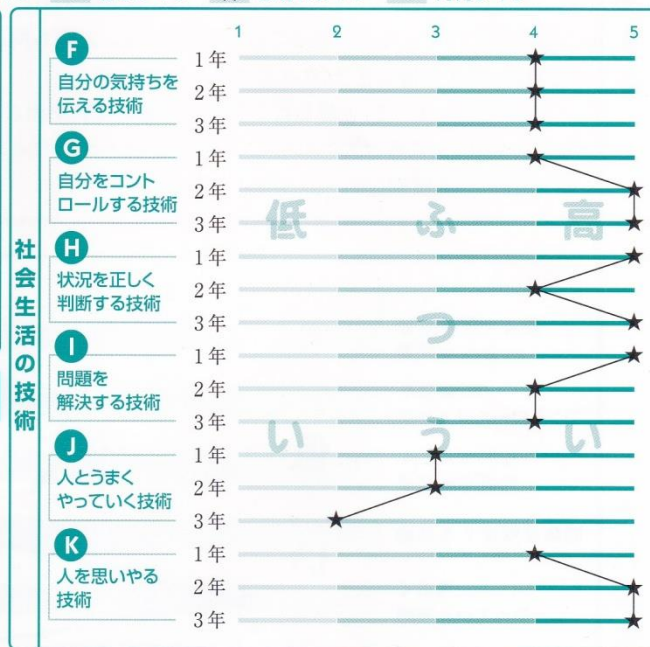
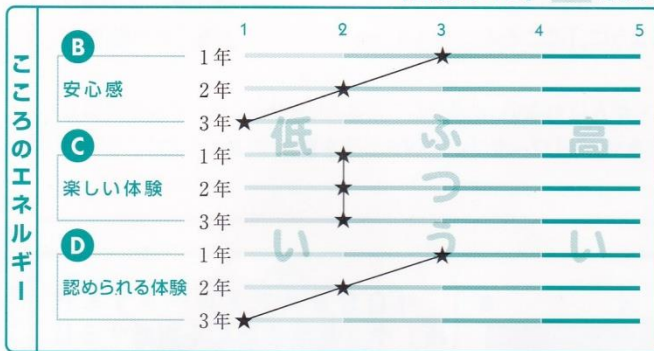
☆ 教師用シートをチェック

KJQ マトリックス 教師用

学年・組・番	名前	性別	受付No.	学校No.
3年 2組 5番	実務 一夫	男	*****	**-*****

(原寸はB6判)

[生徒のタイプ] 意欲タイプ 遊びタイプ ★ 息切れタイプ 内向タイプ



臨床尺度 [★は要注意]

- L 「学校の中に自分の気持ちを話せる友だちがいる。」
生徒の回答 ▶ いいえ 要注意 ▶ ★
- M 「家での食事は楽しみ。」
生徒の回答 ▶ いいえ 要注意 ▶ ★
- N 「クラスにいても自分の居場所がないように感じる。」
生徒の回答 ▶ ややはい 要注意 ▶
- O 「今のクラスは、いて楽しい。」
生徒の回答 ▶ いいえ 要注意 ▶ ★
- P 「休み時間や授業中に、友だちに相手にされない。」
生徒の回答 ▶ ややはい 要注意 ▶
- Q 「嫌なことがあって学校を休んだことがある。」
生徒の回答 ▶ いいえ 要注意 ▶

- 生徒をほめるポイント
- ① 基礎的な社会習慣が身についています。
 - ② 感情を抑制する力を備えています。
 - ③ 周囲を見渡す視野の広さがあります。
 - ④ 冷静な判断力で問題に対処できます。
 - ⑤ 思いやりの気持ちを行動に移せます。

- Q: タイプは？
- Q: 心・社会の
得点傾向は？
- Q: アンバランスは？
(線を引いてみる)
- Q: 経年変化は？
- Q: 臨床尺度★は？



普段の様子と
照らし合わせ、
**どんな気持ちで
回答したか** を考察



マトリックスシートを読み込む 個別データを読み込む



- 「気になる子」の**問題**はどの部分に現れてる？
- 回答に「**違和感**」はない？
 - 教師には見せない姿，表に出せない，普段は無理をしている，つくろっている，自己評価が厳しい／甘い
良い自分を見せたい（評価過敏）
こうありたいという願望を表現
精神疾患等により自己評価が難しい
- 「回答状況シート」を読み込む（別紙）
 - 個人間差ではなく**個人内差**から理解する

「回答状況シート」を読み込む：微妙な個人内差から子どもの自己イメージ、他者意識を理解する

(注：1「はい」2「ややはい」3「ややいいえ」4「いいえ」、★は「逆質問」。)

領域	項目	臨床尺度	Aくん	分析例	Bくん	分析例
先生	1 学校の中に困ったとき相談できる先生がいる		2	先生への信頼ある。ただ、認められている感覚は低く、積極的にかかわろうとまでは思えない	2	先生への信頼高い。「話してみたい」でもまだ認められていない。
	23 学校の中にゆつくり話してみたい先生がいる		3		1	
	25 先生から「頑張ったね」「一生懸命やってるね」とほめてもらえる		3		3	
友だち	2 学校の中に自分の気持ちを話せる友だちがいる	L	2	付き添ったり、受け身で友だちと関わるくらいは問題ないが、積極的には難しい	4	「友だちと上手に関われない」But正義感、やるべきことはやるという意識は強い
	5 友だちから大事な相談にのってほしいと頼まれる		3		4	
	16 クラスの友だちをよく励ます		3		1	
	24 遊びや勉強のとき、友だちが自分のところに来る		3		4	
	32 ケンカやもめごとの仲裁に入ることがよくある		3		4	
	35 友だちの輪に自然に入ることができる		3		4	
	37 一人でボツンと離れている友だちがいたら声をかける		3		4	
	43 係や委員に推薦されることが多い		4		4	
	44 休み時間や授業中に、友だちに相手にされない(★)	P	3		4	
	51 友だちがケガしたり急病などのとき、適切な行動をとることができる		3		3	
	52 友だちがいじめにあっているとき、何らかの方法で助ける		3		2	
	55 体調が悪い友だちがいたら付き添う		2		3	
家族	3 家での食事は楽しみ	M	2	家族へは一定の安心感。主体性は低い。	2	家族関係は良さそう、でも自分のことは話せない？ 一人っ子？
	6 家族の一員として、自分がやるべき仕事や手伝いが決まっている		2		2	
	8 自分が感じたり思ったりしたことを、親や家族に気軽に話せる		3		4	
	18 家族が疲れていたなら、何か代わりにやってあげる		3		2	
	20 家族と一緒にいると、ホッと気持ちが安らぐ		2		2	
	40 自分の気持ちをわかってくれる家族がいる		2		2	
	42 家族のだれかの行事に、家族みんなで行くことがある		2		4	
社会	50 家族の中で今、自分が何をしなければならぬかがわかる		3		2	
	17 電車やバスではお年寄りに座席を譲る		3	社会への信頼はまだ低く、社会と関わることに難しさを持っている。	4	社会や大人への信頼はとても低い
	39 学校の外で、怖い思いをしたときに、周りの人が助けてくれると思う		3		4	
	56 小さい子が一人で泣いていたら「どうしたの？」と声をかける		3		4	
居場所	19 クラスにいても自分の居場所がないように感じる(★)	N	3	クラスへの感触は悪くはない	3	クラスでの一定の居場所があるが、楽しいというほどではない
	38 今のクラスは、いて楽しい	O	2		3	
未来	21 このまま努力を続ければ、自分の将来は明るいと思う		2	OK	3	やや未来への希望が低い
自己	4 部活や行事など、目標をもって打ち込めるものがある		2	・打ち込めるものが何かありそう。	4	・ほめポイント。自分でもできている実感があるので褒められた時に「先生も気づいてくれている」と思えそう
	7 顔を見ながらあいさつできる		3		2	
	9 掃除当番や掃除係をよさばる(★)		3		3	
	10 時間を守って生活できる		2	・ルールを大事にする(ルールがあれば動ける)	2	・ルールを大事にする(ルールがあれば動ける)
	11 周りの雰囲気の流れに流されず、冷静に判断したり行動することができる		3		3	
	12 集会のときなどは、全体の動きを見ながら行動できる		2		2	
	13 友だちのさまざまな意見をまとめていくことができる		3	・対面ではうまく話せなくても文章であれば自己表現できる	3	・信頼できる誰かがいる？ 何かがある？ ・対人関係の苦手意識 ・ここを上手に刺激したい
	14 解決できない場合だれに相談すればよいか何に頼ればよいか知っている		3		2	
	15 いつも明るく笑顔と言われる		3		4	
	22 新しい知識や考え方を知ることに関心がある		3	・冷静で客観的な自己イメージ	2	・なぜか？知識欲？礼儀？
	26 授業中、自分の考えを発表することができる		3		3	
	27 作文や手紙やメールの中に、自分の思いを書くことができる		2		3	
	28 自分の興味がわからないことでも最後まで聞いていられる		3	・人に対して優しくかわりたいたい	2	・人に対して優しくかわりたいたい、得意分野を生かしてかわりたいたい
	29 カッとしたときでも、自分の気持ちを抑えられる		1		3	
	30 大声を出していい場所かどうか考えて、友だちとおしゃべりをする		1		3	
	31 先生の表情やしぐさなど、ことば以外の表現をうまく理解できる		2	・何かをのりこえた経験がある？	3	・対面コミュは苦手意識 ・不登校履歴
	33 これをすればどんな結果になるのか、行動の予測がつく		2		2	
	34 穏やかに話すことができる		2		3	
	36 知っていることを人に聞かれたら、丁寧に教えてあげる		2	・対面コミュは苦手意識	2	・対面コミュは苦手意識 ・不登校履歴
	41 難しい目標を達成して満足したことがある		2		3	
	45 自分に不利になるようなことも正直に話すことができる		3		3	
	46 気持ちを友だちに伝えたいとき、いろいろな方法で伝えることができる		2	・対面コミュは苦手意識	3	・対面コミュは苦手意識 ・不登校履歴
	47 勉強するときは見たいテレビやゲームなどを我慢している		3		4	
	48 夜ふかしなどをして、よく体調をくずす(★)		2		4	
	49 その場の雰囲気を察して、その場にふさわしい話や態度ができる		2	・対面コミュは苦手意識	3	・対面コミュは苦手意識 ・不登校履歴
	53 人の話をじっと聞くことが苦手だ(★)		3		3	
	54 緊張した雰囲気ときユーモアや明るい話題で周りをなごやかにできる		4		4	
	57 嫌なことがあって学校を休んだことがある(★)	Q	3		1	